

輝け!! 川越の景観

美しい国づくりを担う川越のまち

まちづくり計画課都市景観係・TEL内線32115



歴史を感じさせる蔵造り。今後も市では優れた景観を保全していきます

今、まちづくりの現場では「美しい国づくり」という視点から、さまざまな方策が打ち出され始めています。平成十六年には、今後の美しい日本を形成するうえでの基本的な法律である「景観法」が施行されました。美しい景観の形成は、住む人の心に潤いを与えるだけでなく、地域独自の発想と活動を促し、魅力を向上させる可能性を秘めています。

歴史的町並みが残る川越は、景観に対する意識が根付いています。近年では、川越でも、優れた景観を自分たちの手で守り育てていこうとする市民の皆さんが増え、地域活性化の重要な手法として位置付けられるようになりました。そのため、町並みの保存整備や伝統的な建物の活用にとどまらない、新しい施策の実施が求められています。

現在、市では優れた景観を保全し、創造していくための具体的な方策となる「川越市景観計画」の制定に向け、検討を行っています。それにより、美しい都市景観の創造を目指します。

人権教育シリーズ

子どもの虐待を理解するために⑨

人権推進課人権推進担当・TEL内線2282

このシリーズは、平成十七年二月に小児科医・坂井聖二さんを招いて行った、人権問題講演会の要旨をまとめたものです。

私が昭和五十二年に大学を卒業して、まだ半年たったかたたないかぐらいのフレッシュユマンの時に、小さな女の子の主治医になりました。

この子は全身状態がよくなくて、病院に来た主な理由は、たしか右目だったと思いますけれども、失明をしていたことでした。何か刺されたような形で、すでに眼科の先生が目の摘出手術をしてしまったあとで、「どう見てもこれは虐待にしか思えないから、あとは小児科で診てくれ」と言われて私が主治医になりました。そして、診察をしたわけですが、体じゅうにたくさん傷がありまして、何かでたたいたような跡とかがたくさんありました。また、この子どもは年齢に比べて身長も体重もとても小さくて、とても不潔で、もう十分歩いて話ができてもいい年齢なのに、知的な発達も遅れていました。この子も別に家庭状況が経済的に困った家ではあり

ませんでした。その子が目にけがをして連れて来られたわけです。この時に眼科の先生が虐待を疑ったのは、親の言うことがおかしいと。親は「ゆうべつまづいて、目に何かを刺したらしい」と言っているけれど、目はもう化のうしいので、どうみても一週間以上前のけがで……。これは虐待のケースではとても多いですけども、連れて来るのが遅い子どもが多いですね。おそらく親は「どうしよう、どうしよう」と思っているうちに、あつという間に日にちがたつてしまふんだと思うんです。それから全身状態があまりにも汚くて、体中に傷あとがあつて、ちょっと異様な感じはしたんですよ。それに対して親は「早く目を治してくれ」ということばかり言つて、とても不審な感じを持つたんでしよう。その当方で、眼科医であっても、これは虐待に違いないということ、私の所に連れて来たわけです。(つづく)

投票率向上のために

選挙管理委員会事務局・TEL内線3712

●メルト・ジョイフルでも期日前投票

投票日当日に、仕事や旅行などの理由で投票に行けない方の利便を図るために、期日前投票という制度があります。期日前投票所は、今までは市役所本庁舎とアトレの2か所でしたが、メルト(西文化会館)・ジョイフル(南文化会館)でも期日前投票を実施する予定です。

市では、選挙のたびに低投票率が懸念されています。期日前投票所の増設は、1人でも多くの選挙人の皆さんが、投票できるようにすることを目的としています。投票日当日に都合がつかない方は、ぜひご利用ください。

期日前投票の詳しい日程については、選挙のつど広報川越と市ホームページでお知らせします。



埼玉県の選挙統一キャラクター「選挙くん」

みんなの作文

修学旅行の思い出

名細小学校六年

佐瀬春花

十月二十六日、二十七日に私は友達と共に栃木県の日光に行きました。

修学旅行に行くために、班を決めたり、めあてを決めたり色々なことをしました。そしてとても楽しかったです。日光に行ってみて発見したことや心に残ったことが三つあります。

一つ目は、二十六日に行った富弘美術館です。富弘さんの作品は自分の心を見つめたり、身近な出来事などが、えがかれたりしていて私はとても感動しました。私は詩が大好きなので富弘さんの作品を見たいと思いました。

二つ目は、二十六日に特に



楽しみにしていた東照宮です。東照宮には、三ざるや想像の象やねむりねこなど色々なものがありました。中でも私は陽明門の魔よけの柱がすごいなあと思いました。昔の人々は、よくそういうことを考えられたなあと思いました。ここでは、とてもたくさん

の発見をしました。最後は、華厳の滝です。私は、修学旅行の前から、華厳の滝を見るのを楽しみにしていました。しかし、当日はきりがとてもこくて見えませんでした。音は聞こえなければ、とても残念でした。

私は、この修学旅行でさまざまなことを学びました。自分の心や感動すること、そして友達。他にもルールやマナーも学びました。

これからも修学旅行で学んだことを生かしていきたいと思えます。

*ふりがなは広聴広報課で付けました。

ぼしゃべり倶楽部 214 植物あらかると

川越城本丸御殿の柱



ことは、川越城が築城されて550年目。それにちなみ、本丸御殿へ行ってみました。

この建物は嘉永元年(1848)に建築された、県指定の文化財です。ふと、大きな玄関の屋根を支えている、木目が鮮やかな4本の柱に目が留まりました。約33センチ角で、全体の長さが5メートル85センチほどあり、ケヤキが使われています。

この柱を製材するためには、高さ15メートル以上、樹齢300年以上の木が必要です。建築から150年以上過ぎても風格がある姿に、完成当時の川越藩15万石の格式をしのぶことができます。

短歌

四元仰・選

今日干して今日の白さの干大根みどり残して甘き香のたつ
冬晴れの雪もつ風が容赦なく裏庭めぐり枯葉舞い上ぐ
娘の窮地救ってやりたし方法を考えおれば空の明らむ
紅葉の満天星陽に映えて師走半ばの庭に浮き立つ
高令の運転免許更新におどおど行けど合格したり

俳句

石川俊一・選

果樹園の梯子伏せあり冬初め
天心の寒月抜ける五体かな
旧家には旧家の慣い年用意
紅葉を観る暇も無く夕暮れる
小夜時雨母の頭ささえ膝のうえ

川柳

小川正夫・選

出せば来ず出さねば届く年賀状
羽根突きも凧あげもせず塾通い
音一〇〇選三時を告げる蔵の町
孫あがり湯舟にあひる忘れられ
焼き芋の呼び声ちぎる空つ風

応募方法(4月掲載分は2月28日(水)必着)

- 短歌部門=当季雑詠3首まで、俳句部門=当季雑詠2句まで、川柳部門=雑詠3句まで
- 市内在住・未発表・創作のもの・かい書で明記・すべての漢字にふりがなを付ける・作品の返却なし・掲載時に選者が手を加える場合あり
- ハガキに部門・作品・住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を明記し、〒350-8601川越市役所広聴広報課

有田杉江(南台二丁目)
小澤繁雄(石原町二丁目)
金田トク江(三光町)
小久保良種(西小仙波町二丁目)
藤崎本男(菅間)